

さんわ（話・和・輪）会の流れ

1. 日程の確認・調整（電話等で結構です。）

2. 申請書の提出（2週間前までにご提出をお願い致します）

※1～5番については必須講習で、3～5番の中から一つを選択して下さい。

※6～8番の選択講習「赤十字講習会」希望の場合、講師派遣依頼の都合上1ヶ月前の申込をお願い致します。各講習毎に2時間程度を要しますので、日程調整等お願い致します。尚、日赤の都合でご希望に添えない場合もありますがご了承下さい。

3. 助成金の確定（3日前までに参加者人数を社協82-6309までご連絡下さい）

4. 備品の整備

I. 自治会等主催者でご用意いただく物

- ①炊飯用のお米（一人あたり約1合）
- ②試食時のおかず及び食器（カレー漬物等、保存レトルト食品等）
- ③集会場等場所の確保（雨天に対応出来る場所が助かります）

II. 社会福祉協議会で用意する物（搬入は当日させていただきます）

- ①炊飯器（炊飯袋、プロパンガス含む） ②助成金（参加人数×300円）
- ③支え愛マップを含む説明資料 ④高齢者疑似体験セット ⑤プロジェクター

5. 講習会当日の流れ（1時間30分で終了します）

- ①主旨説明→社協業務・赤十字、共同募金事業説明及び講習会開講のお礼。
（約5分） 皆様からの募金にて本講習会が開催、赤十字から移動式炊飯器が寄贈されたことの説明。
- ②炊飯器説明→組み立て・炊飯方法の説明（説明資料有）。移動式炊飯器を使い炊飯
（約25分） 袋（ハイゼックス）で白米を調理します。炊きあがりに40分～60分かかりますので以下の講習を行います。
- ③支え愛マップ→地図を囲み地域の「要援護者」や地域の良い所や課題等を書き込み、
（約30分） 可視化します。ご近所福祉の再発掘と地域だけでは解決出来ない課題の解決策を探ります。自主防災マップ作成のお手伝いも行います。
- ④高齢者体験→子どもや若手の方に体験セットを着用し体験してもらいます。災害時
（約30分） 高齢者の避難活動・誘導にどのような不便があるのかを、地域の実状に応じて理解をしてもらいます。
- ⑤防災講話→災害の状況別に日頃から自身（自助）や家族（互助）・地域（共助）
（約30分） の自身の備えについて理解を深めます。
- ⑥避難シミュ→実際の災害時にどれだけ避難行動が困難であるかを体験出来ます。
レーション 「自分の命を守る事」と「助け合い」が矛盾することを体験の中で考
（約30分） えてもらいます。
- ⑦試食会→非常食の試食。また皆さんは既にハイゼック食の調理ボランティア。
他の地域で災害が発生した際に、炊飯器を持ってボランティア活動をしていただきたいことをお願いいたします。（試食込み約30分）